

平成27年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 行計対象

事務事業名 (中事業)	13577 花と緑の緑化推進事業			
基本政策	06 持続可能な循環型社会を築き、人と自然が共生するまち			
政策	02 自然と暮らしが調和する環境保全・育成			
施策	03 自然環境の保全とみどり豊かなまちづくりの推進			
実施形態	一部委託			
事業期間	単年度	昭和59年度～		
要求区分	継続	予算区分	政策	
事業の実施を市に義務づける国の法令				
有 無	「できる」規定あり			
法令名 条 項	西脇市の環境をまもる条例第106条			
予算科目	01-040105-070300			
部 名	24 暮らし安心部	課 名	04 環境課	
課 長 名	藤井 敬也	T E L	内 線	393

2. 対象・目的・内容

事業概要	「西脇市を花でいっぱいにしよう」をテーマに、「花と緑の協会」に、市の花しばざくらの普及を中心に花と緑の緑化事業を委託している。
事業の対象 (誰・何を)	全市民
事業の目的 (どういう状態 にするために)	市民の花と緑に対する意識高揚 緑化の推進 しばざくらの栽培促進
事業の内容 (どういう内容 を行うのか)	○花と緑の協会への委託 ①しばざくらの栽培促進 ②草花栽培講習会の開催 ③花苗、種子、球根の配布 ④見学及び調査活動 ⑤しばざくらの栽培ボランティアグループの支援 ⑥緑化資材の購入など ○花と緑の協会の運営補助、協会の諸活動及び会計に関する事務全般

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費	財源						
		国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源
平成24年度決算額	0	0	0	0	0	0	0	0
平成25年度決算額	1,100	0	0	0	0	0	1,100	0
平成26年度決算額	1,100	0	0	0	0	0	1,100	0
平成27年度予算額	1,600	0	0	0	0	0	1,600	0

4. 総コストの概算

(単位：千円)

平成26年度のこの事業に 従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成26年度 決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.10	0.00	0.10	780	1,100	1,880
事業費の主な使途		委託料、補助金			

平成27年度 当初予算事業の概要説明書

(兼評価説明書)

2 頁

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指標名	事業費				単位	千円
	説明や数式	広報活動費、技術指導費、地域美化事業費、花苗基地費					
	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	目標値			2,012	2,012		
	実績値	1,839	1,849				
	経費(千円)	—	—				
①	単位当たりのコスト	0	0				
活動 指標 ②	指標名					単位	
	説明や数式						
	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	目標値						
	実績値						
	経費(千円)						
②	単位当たりのコスト						
成果 指標 ①	指標名	公共場所へのしばざくらの苗の提供実績				単位	箇所
	説明や数式	当該年度に提供し植栽していただいた箇所数					
	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	目標値			7	8		
	実績値	4	6				
	経費(千円)	1,880	1,880				
①	単位当たりのコスト	470	313.33				
成果 指標 ②	指標名	協会が委託・支援する団体数				単位	団体
	説明や数式	委託…しばざくらフルール、西脇市老人クラブ連合会、上比延町老人会、西脇ヘソクラブ 物資提供…しばざくらフルール、西脇区					
	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	目標値			6	6		
	実績値	6	6				
	経費(千円)	1,880	1,880				
②	単位当たりのコスト	313.33	313.33				
実績・成果 等の説明	しばざくらを植栽している箇所が、確実に増えている。また、花と緑の協会が4団体に委託するとともに、2団体へも物資提供をしている。その他、西脇北高校へも物資を提供し、緑化を進めている。						

6. 評価

1 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	5
		直接のサービスの相手方	4	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	5
	事業の総合評価	継続実施					
	説明	市民への花苗の提供などを通じ、住まいに花と緑を積極的に取り入れ、緑化の推進を図っている。また、緑化ボランティアグループへの花苗や緑化資材を提供することにより、花づくり活動を支援している。公共施設や住宅などの敷地の緑化を進め、生活空間に潤いをもたらしている。緑化推進を進めるために継続が必要である。					
2 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	2	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
		直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	3	市民ニーズの把握	3
	事業の総合評価	抜本的見直し					
	説明	委託内容が不明確であるため、委託内容を明確化するとともに、そもそも委託すべき業務かどうかを精査する必要がある。補助金については、交付規程により補助対象経費が定められているが、協会内では前述の委託料と合算して決算されており、補助金の使途が不透明であることから、今後は補助金の使途を明確化した報告書の提出を求める必要がある。また、委託内容と補助内容を整理し、業務を見直す中で、補助の必要性も検証し、協会の運営について、会員の会費で運営できるようであれば、補助金を廃止するなどの検討もすべきである。					